



かえでゆうびん 2月号

平成28年2月1日

社会福祉法人 清松学園

かえで保育園

せいちょう発表会はいかがでしたか？

毎年、感動を与えてくれるこどもたちや保護者の方々の温かいまなざしやお声がけに感謝するとともに、キラキラ輝くこどもたちの演技やしぐさを感じられるこの時をうれしく思います。

かえで保育園の発表会はこの日のために作り上げるものではなく、こどもたちの思いや一年間の成長をお伝えする時間として開催しています。今年のだいち組のこどもたちは本番にたいへん力を入れてくれ時間が過ぎていたのを機にしながらでしたが、こどもたちの思いを優先させていただきました。その結果、大幅に時間が超過してしまい、申し訳ございませんでした。来年はこどもたちの思いを受け止めながらも時間配分を考えて進めていきます。長時間お付き合い頂きありがとうございました。

さて、27年度も残すところわずかとなりました。1月半ばたいへんな低温となり園庭のピオトープが大変なことになりました。朝、園庭の水道管の状況を見ようとしてびっくり！

こんな都会で水が流れるまま凍り付いているのは初めて見ました。こどもたちが気付く前にこっそり写真で写しましたが、あっという間に気付かれ、みなで氷で遊びました。

「わ～キラキラしてきれい」「ガラス見たい」「結晶がいっぱいある」「冷た～い」とみんな大興奮！

手も足も真っ赤になりながらもその寒さに気付かないほど・・・時々、用意した少しお湯の入ったバケツに手をつけて「熱い！」と言いながら興奮したままの午前中でした。

だいちには色々な体験で図鑑を見たり、調べたりすることが身につけてきましたので、「えんちょうせんせい。この溶けた水に残っている氷を入れても一回凍らせてみたらどうなるかな～」と私にも想像がつかないことをやってみたいというこどももいました。

一つの現象にいろんなことを考えたり、想像したり・・・わくわくの毎日です。

このように自然の事象を感じた時のこどもの感動は、作られたおもちゃで遊ぶ時より発見がありますね。

今年は通り雨を体験をしたり、虹を見たり、大きな月をみたり・・・

これからも園の中でも感じる事ができる環境を見つけ、様々な体験ができるよう提供していきたいと思っています。



1月半ばに実父が皆に見送られて人生を閉じました。私のこどもの頃は、本当によく父に遊んでもらいました。自宅は動物園のように、犬、鳥、（目白・鶯・セキセイインコ・じゅうしまつ）熱帯魚、金魚、ひよこ、カエル・・・毎日水を交換したり、散歩に行ったり父の世話をよく手伝いました。山に鳥の食べる虫を取りに出かけ、父が指差す小枝には必ず虫が入っていて、何でわかるの？と聞いても魔法の目だからと。

今の動物や自然が好きなのも父に育ててもらったからこそだと感謝しています。これからもこどもたちに父に教えてもらった自然の目を伝えていきたいと思います。

<かえでカフェ>

発表会の歌声。最高でしたね。皆さんありがとうございました。あの曲の間奏に♪かえで・かえで～と歌いました。アレンジもかえでカフェでこうしたらよい？という意見からとらさんに楽譜を作成していただきました。これからもコーラスや、手作りおもちゃ等進めていきます。

4時半ぐらいから行いますので、どうぞいらしてくださいね。

にこにこメッセージ♪

寒い毎日ですが、暖かい日差しが出ている午前中は、ままごと遊びや砂遊びを中心に言い、気温が下がり寒さが増してくる夕方は、自然と体を動かし鬼ごっこやボール遊びをして遊ぶ姿が多く見られます。2月も「こどもはかせの子」で元気に過ごしてほしいものです。

私事ですが、今年、上の娘が成人式を迎えました。

1・2年前頃から振袖をどうしようかと悩んでいたころ、私が若いころからお世話になっている引地先生から「母の縫った着物を着ない？」と言って頂き、着せて頂くことになりました。数年前に作られた着物で誰も袖を通したことの無い赤の総絞りのとても綺麗な着物でした。娘はもちろん一目見てお気に入り、親の私としては、本当にお言葉に甘えていいのかドキドキするばかり、袖を通したところ、小柄な娘の、背丈にぴったり、

「とても似合っているわ。よかった。よかった」と言って頂き嬉しい事ばかりです。今回は着物を着られた喜びはもちろんのことですが、お忙しい中で、娘のために時間を作り、喜びを分かちあって下さったことが何より感謝するばかりです。

娘たちが小さな頃、保育園の先生方やお友達・職場の同僚、近所の方、電車で知り合った方などなど、たくさんの方に助けて頂き子育てをしてきました。娘が大きくなった今でも、私より目上の方にとって、私はまだまだ子育て中の母、いつも誰かに支えられています。多くの人に助けられたことに感謝しながら、子育ては誰かに支えられてこそ、こどもがスクスク大きくなるということを伝えていけるような保育者でありたいと思っています。

主任保育士 藤森 寿美

～乳児ぐみからのお知らせ・お願い～

- ・肌着のない方は肌着の用意をお願い致します。
- ・ダウンではない、厚手の上着のご用意をお願い致します。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・靴に名前があるか、小さくなっていないかの確認を再度よろしくお願い致します。
- ・週末には、赤白帽子と外用の上着を持って帰ってください。

せんせいからのおはなしコーナー

私の家にはダックスの犬が2匹います。一匹は小学校3年生の頃にやってきたので今では耳も遠くなり動きもゆっくりになり、いつの間にか私の歳を越えておじいちゃんになってきました。初めて会った時にお気に入りの服を破られてしまうというハプニングが起きたのですが、なぜか怒りになることなく「この子がいい！」と気に入って連れて帰ってきたのが出会いでした。兄弟のように喧嘩もしましたが泣いている時に一番に来てくれるのはその犬で今でも私にとって大切な存在です。言葉は通じませんが雰囲気や表情で思いも伝わっているように感じます。

保育園でも特に乳児さんは大人には分からないような言葉でお友達と話をしていたり雰囲気を感じ取っていたりする姿をよく見ます。何を話しているのか気になりますが、とても微笑ましい光景です。そんな風に私も子ども達と言葉ではない絆のようなもので繋がれたらいいなと思います。いるだけで落ち着いたり安心したりできる存在になれるように子どもたちの心に寄り添っていきたいと思います。

足立 真裕子

ねらい：お友達や保育者とのお話を楽しみながらあそぶ

う た：「まにまにけむし」「かごかご」

12月・1月とめばえ組には新しいお友達が仲間入りして、全員で9人になりました。

お部屋の中にみんなが集まるときは、とつてもにぎやかで楽しい雰囲気になります。

新しいお部屋で新しい玩具・お友達に囲まれて少しドキドキしている時もありますが、他のお友達がおもちゃを持ってきてくれたり、一緒になって遊ぼうとしてくれたり、新しく来たお友達ともすぐに仲良くなれてしまう子どもたちです。



最近、お部屋や園庭で子どもたち同士で向かい合い一生懸命お話をしている姿（子どもたちだけで分かりあう言葉）がよく見られます。話しながらお互いに笑い合ったり、同じところを指差して一緒に走って行ったりして、子どもたち同士ではちゃんと会話が成立しているようで、楽しそうな笑顔を見ているとどんな会話が繰り広げられているのか気になってしまいます。保育者の問いかけや話していることに対しても「うん」や「はい」など返事をしてくれることも多くなりました。おままごとをしている時にも、「はい、どうぞ」「できたよー」や「いや！」など意味のあることばをはっきり話せるようになっている子どもたくさんいます。保育者が普段何気なく話していることばも子どもたちは本当に良く聞いていて、何でも真似をしてみたいようで、一緒に会話ができるようになるのが楽しみです。



この写真は、泣いているお友達を見つけて急いで駆けつけて、頭をよしよしなでてくれているところです。最近、どこかで泣いている声が聞こえると、「ん!？」と反応をして探して、その子の方を指差して「えーんえーん」と仕草の真似をして、泣いていることを教えてくれたり、顔を覗き込んで、心配している様子も見られるようになってきました。

お友達のこと、先生のこと、自分よりも誰かのことが気になるようで、キョロキョロ周りを気にしている姿はとても愛おしいです。

“担任の思い”

子どもたちは、本当に大人の行動をよく見ていて、言葉をよく聞いているのだと改めて感じさせられる毎日です。ティッシュを取り鼻をかむ真似をしてみたり、子どもたち同士でのおもちゃの取り合いの喧嘩では「めんめ」と口を尖らせて怒っていたり、ペットボトルのおもちゃを持って手の平に出す仕草をして顔にペタペタつける真似までしている子どもいます。

保育者の普段の言葉づかいや何気ない行動も模倣していますので、子どもたちの言葉や行動の成長を支えていきたいと思っています。

めばえ組のお部屋で過ごすのもあと一か月となりました。少し寂しい気もしますが、少しずつめばえのクラス以外の部屋に遊びに行ったり、先生たちとも関わったりする機会も作っていきたいと思っています。

原田 千尋・三谷 梨緒

ねらい：外でたくさん遊ぼう

う た：「ひなまつり」 わらべうた：「2階へ上がらしてや」

今年は何年にも比べ暖かい日が多かったですが、極寒のような寒さの日もありました。少しくらい寒くても子どもたちは平気で、「お外行こうか」の声に「やったー」と言って元気に外で遊んでいます。園庭であそぶボールも増え、追いかけたりボールに追いついたと思えばまた蹴ったりと、たくさん体を動かし楽しそうに遊んでいます。

～冬のお散歩～



先月交通公園へお散歩にいきました。少し風が冷たくても公園に着くと、太陽もよくあたり体を動かしていると暖かくなっていました。友達と手をつないで歩くことを少しずつ始め、「〇〇ちゃん、〇〇くんと手をつないで絶対に離したらだめだよ」と約束をして出発すると最後まで離すこともなく行き帰りできました。今までは保育者と手をつないだり、お散歩車に乗ったりでしたが、友達と手をつないで歩くことで『友達と一緒に。楽しい。嬉しい。』になって成長していけたらいいなと思っています。公園ではどんな遊具にも挑戦したり、短い距離ではありますが、かけっこもしたりもしました。帰りにどんぐりを拾おうと探している子どももいましたが、このあまり落ちていませんでした…でもどんなに小さくても見つけて拾ったり、木の実を見つけたりもして持って帰ってきました。これから寒くなる日もあると思いますが、散歩に出かけていきたいと思っています。

～自分で出来るよ～



自分で出来る事も増えてきて、手洗いは水道の蛇口の開け閉めや石鹸のポンプのやり方もわからない時もありました。でも今では、みんな洗い方もわかり蛇口やポンプも一人で出来るようになりました。保育者が水道の水が出すぎると弱めるように伝えていくと、いつのまにか自分で気づいて弱めたりもする子どももいて、音や水の出方で大きい小さいも気づいていけているのかなと感心しました。着替えは手洗いの後自分のタンスからゴムのついた着替えを持ってきてタンスを閉めるという流れもわかり、声を掛けなくても一人で出来るようになってきました。ズボンを脱いだり履いたり、時には上の服を脱いだり着たりも一人でやってみようとする気持ちも出てきたので出来る限り任せ見守っていています。脱いだ服をたたむことにも興味を持ってやってみることもあるので、子ども一人ひとりにあった援助見守りをこれからも続けていきたいと思っています。時に「脱げないよー」「できた！」「自分でする！」などの声もたくさん聞こえ、着替えながらも言葉のやり取りをしながら、楽しく着替えていけたらと思っています。

～担任から～

生活では進級に向けて、今まで行ってきた毎日の繰り返しを身につけながら一人で出来る事はやってみるということを今後も大切に過ごしていきたいと思っています。寒くても出来る限りは外であそびたくさん体を動かして元気なふたば組で過ごして行こうと思います。言葉も増え、友達や保育者とのやり取りも出来るようになってきましたので、いつも子どもたちの笑い声や楽しそうな声が絶えないお部屋でいたいです。

～つぼみぐみ～

ねらい：「お兄ちゃん、お姉ちゃんのおしていることに興味を持ちやってみる」

う た：「幸せなら手を叩こう」「1丁目ののらねこ」

1月は皆で初詣に出かけて新しい年が始まりました。お話が大好きなつぼみぐみは、お休みだった日のお話をお友達や先生にたくさん話してくれました。

お友達と遊ぶ事が更に増え、おもちゃの取り合いや意見の食い違いも出てきますがお友達の気持ちにも気づき始め、「〇〇したかったん？」「一緒にしよう」など優しい言葉も聞こえてくるようになりました。ペアのお兄ちゃんお姉ちゃんとの関わりも増えてきたので同じお部屋のお友達だけでなく他のクラスのお友達ともたくさん関わってほしいと思います。

たこあげ



皆で風を作って風揚げをしました。色も選び、絵も描いてお気に入りの風が出来上がりました。最初は「どうやってするん？」と言っていた子どもたちも

何度かするとしっかり手を上げて上手に飛ばしていました。

今でも風をみると「やりたい！」と言うお友達が多くとても盛り上がりました。

積み木



幼児のお部屋から積み木をもらいました。先生が積み上げているのを見て「何してるの？」と興味を持ち始めたつぼみさん。

一緒に積んでみると思った以上に高く積み上げることが出来ました。椅子に乗ったり抱っこして積み上げたりするのが楽しくなり自、分との背の高さも測りながら楽しんでいきます。真ん中にできた穴を覗いてみたり、土台になる積み木を一つずつ取ってみたりと崩す時も何だかとても楽しそうです。

幼児に向けて



「がらがらうがい」をしたりトレーを使う練習をしたりどんどん新しい事に挑戦しています。トレーを使うとランチルームで幼児さんが使っているのを見ていたこともありお兄ちゃんお姉ちゃんになった気分を楽しんでいます。まだまだ危なっかしいですが「できた！」と机に置けた瞬間はとっても嬉しそうです。

“担任の思い”

ひかり組とのペアの子との関わりも増え、外で会った時や行事でひかりぐみが前に立っている時には手を振ったりしている姿が多く見られるようになってきました。ランチルームでご飯を食べたり、がらがらうがいをしたり新しくできる事が増え「もう赤ちゃんじゃないから」とお兄ちゃんお姉ちゃんになることを意識することが増えてきました。“しなければならぬ”ではなく憧れのお兄ちゃんお姉ちゃんが見ていることが自分も出来たと“喜びや嬉しさ”になるように楽しみながら進めていきたいと思っています。かっこいいいぶきさんになる日を楽しみに皆でいろんなことに挑戦し沢山遊びたいと思います。

足立 真裕子・林 奈津美・星加 由美子

～いぶきぐみ～

ねらい：「相手の見て話をする、話を聞く。」

う た：「山の音楽隊」「雪」「豆」

お芋鬼ごっこに続きバナナ鬼ごっこ、凍り鬼ごっこ、ソウ鬼ごっこと鬼ごっこの種類がどんどん増えて外に出ると「今日は何鬼ごっこする？」から始まります。先生が鬼！からぼくが鬼したい！私も鬼したい！と今では子どもたちで決めることも多いです。外に出ると雪がふわふわ降るほど寒くなる日もあります。「さっむ～い！」「お部屋で遊びたい…」の声も聞こえますが「走ったら暖かくなるよ！」の言葉に「鬼ごっこする！」と元気に走り出すいぶき組みです。



“いぶきのなすちょうだい！”

お部屋でカプラ、折り紙、塗り絵、トランプとそれぞれが好きな遊びをしていると「先生！いぶきのなすちょうだい！」と数人の子どもたちから声。どうぞと渡すとふわっ…と笑って部屋の端でお話し中。何してるのかな～と思いつつ様子を見ていました。しばらくすると「いらっしゃいませ～」「おいしいなすはいかがですか～？」となすが入ったカゴを背負う姿が！

「先生、今なす屋さんしてるの！」「塩としょうゆがあるけどどっちにする？」と本格的！椅子の下はなすを焼く場所。お客さんを呼ぶ人となすを焼く人とに分かれてなす屋さんが展開されています。



“発表会ごっこ”

歌、合奏、劇の練習をする中で「もうちょっとでせいちょうはっぴょう会だね」と話すと「いっぱいの人に見てもらうのちょっと緊張する」「ドキドキするね」と照れていました。じゃあドキドキしないようにいろいろな人に見てもらおう！と発表会ごっこを始めました。まず始めはいぶき組みの中でお客さん、発表する人に分かれて歌うことに。「お客さんはこちらにお座りください」「何うたうのかな」とどちらも役になりきっていました。拍手をしたりお友達が歌う姿をじっと見つめていました。次にだいちゃん、ひかりさん、先生と色



んな人に聴いてもらうとはじめは「ドキドキしたー！」と照れていましたが、少しずつ元気ないぶきさんの声が聴こえてきました。

“担任の思い”

なす屋さんで遊び始めると「お金つくらないと！」「鞆に入れて持っていこう」「なす屋さんの看板もほしいな」とやりたいことがたくさんあふれていました。その様子を見ている子から「いれて！」と参加する子も増えました。お友達の遊びに“楽しそう”“一緒にしてみたいな”と子ども同士の関わりが深まればなと思い、ここからどのようになす屋さんが展開されるか私も楽しみにしています。劇あそびの題材の絵本「どうぞのいす」は“どうぞならばえんりょうなくいただきますしょう”と始めは全部食べ物を食べてしまいます。でも、その後の“からっぽになってしまっはあとの人におきのどく”と次の人のことを考える、相手へ思いやる気持ちが残るお話です。お友達との関わりの中で“どうぞ”の気持ちが伝わって感じる事ができたらと思います。

日笠 加菜

～ひかりぐみ～

ねらい：「わからないことは、自分から聞いてみよう」

う た：「ともだちになるために」

1月は、劇あそびや楽器あそびなどを中心に過ごしていました。ひかり組ではまっているゲームは「王様はだれだ」です。少しの合間の時間にランチルームに行ってすぐにチーム分けをして勝敗を楽しんでいます。1つのゲームを習得することは簡単ではないですが、諦めずに何度も挑戦するひかり組です。せいちょう発表会を終えてほっとしている子ども達と「疲れて、もう動けない」というくらいまで身体を動かして遊びたいと思います。また、2月は「考える」ことにたくさん出会い、出てきた答えが間違っている、あっているではなく、自分で考え、人にわかるように伝えることをたくさん経験してほしいと思います。

“すべり台ですっとんとん”



日々の生活の中で子どもたちとお話をたくさん読んできました。少しずつ長いお話を楽しめるようになってきて絵本の言葉を真似たり、なりきることを楽しんだりできるようになりました。ある時「おむすびころりん」を読み、ことばのリズム感が気に入ったようで園庭にでるとすべり台を穴に見立てて「おむすび ころりん すっとんとん」と歌っていました。初めは1人2人から始まりましたが、少しずつお話の世界を共有できているので、すぐに他の子どもたちも集まってきてみんなで楽しんでいます。



“砂山ですっとんとん”

園庭にある砂山をみて、「ここに穴をつくろう」とひかり組数名が集まりみんなで大きな穴を目標に穴を掘っていました。浅い穴に一緒に入って「おじいさん ころりん すっとんとん」とお話の世界は続いていました。子どもたちなりのセリフがうまれてきたりみんなで大笑いをしながら、共通のイメージを持ってなりきって楽しむ姿が見られました。楽しんでいる中、室内あそびの時間になったときまだまだ「おむすびころりん」で遊びたい子どもたちが考え付いたのが、「積み木で穴をつくろう」でした。壊れにくい積み方を考えて数名で力を合わせて作り始めました。子どもたちの腰の高さになると積み木をおむすびに見立てて穴に落とすあそびに発展していききました。どうしても、下からおむすびを取り出したいようで下から手を入られるよう場所を作りましたが、1度崩れてしまうということもあり、次は、穴をしっかりとあげようと相談をしてつくっていました。このように子どもたちのワールドは、「おむすびころりん」へとさらに入り込んでいきました。劇あそびで1人になるとドキドキしてセリフを言うことが難しかったりしましたが本番は、せいちょう発表会でみていただいたように堂々とした姿を見せてくれましたね。



今年ひかり組は、リズムが大好きでピアノに合わせて一瞬で色々な物、生き物に変身することが上手でした。劇あそびになるとどのような姿がみられるのか楽しみにしていましたが、リズム感のある曲ものだと入り込みやすいようでした。歌、リズムが大好きなひかり組にとって「おむすびころりんすっとんとん もひとつたべたいすっとんとん」のフレーズは、なくてはならないもののように感じました。役決めもできるだけ子どもの思いを尊重して決めていと考えていたので子どもたちに尋ねると「友達と一緒にしたい」というよりも「おじいさんをしたい」など自分の意思が強く感じられました。4月当初では、見られない姿だと思い「ひかりぐみ」の一年、少しお兄さんお姉さんになってくれたのかなとほっとしました。あと2ヶ月一人ひとりの個性を大切にだいち組にむけて日々過ごしていきたいです。

ねらい：「だいち組として出来ることを考えてみる」「夢中になれるものを見つけ、深く楽しむ」
う た…『ね』『こころのねっこ』

最近になってだいち組の中では“紙飛行機ブーム”が到来しました。毛糸での指編みや、ドミノ倒し、折り紙のくす玉作りにも夢中です。一人がはまり始めると、周りの子ども感化され広がっていきます。続きがしたい！という強い気持ちもあり、「今日はこの続きがしたいから早目におやつ食べよう…」という声が聞こえたり、気付けば折り紙を使い過ぎてしまったり、それだけ夢中になれるものを見つけられることが素敵ですね。だいち組のわくわくする気持ちがどこまで膨らんでいくのか、楽しみです。



せいちょう発表会での子どもたちの姿、いかがだったでしょうか。おうちの方に見て欲しい！という気持ちがある反面、注目を受けた中で表現することに恥ずかしさもあり、少しずつ自信をつけていく中ではっぴょう会での姿につながりました。

『がんがん』の途中に出てくるだいち組の言葉は、子どもたちと一緒に考えました。

「一生懸命みんなですてきたことを見てもらえた時って、どんな気持ちだろう」と問いかけてみると、「嬉しい！」「恥ずかしい」「ドキドキするけど…がんばれる」「がんばったら楽しくなった！」と、舞台上に立った時の気持ちを想像したり、経験の中で感じた気持ちを言葉にしていました。

また、だいち組の中では自然と助け合う姿や、友達のことを認めたり思いやる姿が多く見られるようになった気がします。良くない部分や間違っただけのことを友だちに指摘されたり自分の思いが通らないと、かっとなって手が出てしまうこともしばしば…そんな時期を越えて、今では友だちの言葉を素直に受け入れられるようになっただいち組です。もちろんぶつかることもあります。仲間と一緒に、本当に素敵に育ってくれていると感じる今日この頃です。



さて、せいちょう発表会の劇や合奏などにも日々取り組んできた1月ですが、子どもたちが一番頭を悩ませたのが“得意技”です。一人で舞台上に立って、しかも自分の得意なことを披露するだなんて…もうそれはそれは悩んでいました。

そんな時にも、一緒に悩んで考えてくれたのはだいち組の友だちです。自分の発表するものが決まった後も、「う～ん…〇〇くんの得意なことって何だろう？」「いつも何して遊んでる？」「何するのが好き？」「あ、これはどうかな」と友だちのため一生懸命でした。最後にはそれぞれが自身で納得のいくものに決めましたが、自分のことのように考えてくれることが、きっと嬉しかったのではないかと思います。



“担任の思い”

大人との関わりよりも子ども同士の繋がりの方がこれからどんどん増えてきます。そういった時期だからこそ、友だちと悩んだりぶつかったり助けあったり…一緒に過ごす時間が、今のだいち組にとってとても大切だと日々感じています。

保育園での友だちとの関わりや葛藤をお伝えすることもあります。どうぞお子さんのありのままの姿を認め、また一つ大きくなる一歩として受け止めていただければ嬉しく思います。おうちでの姿もまた聞かせてくださいね。

【保護者の方からのおはなしコーナー】

去年の4月から入園して毎日楽しみに通わせていただいています。たくさんの事を身につけてくれています。特に、お歌がとても増えました。とても面白いのが、覚え間違いです。「なべなべそ〜こぬけ♪」のはずが、おや？「なべなべそ〜こぬね〜♪」かわいらしくて幸せな気持ちになりました。いつもありがとうございます。

つぼみ組 まいさん

かえで保育園に入ったときは保育園で1番小さかった娘ですが、すすすくのびのび大きく育ててもらいました。

最近では将来のことについて考えるようです。ピアノを習いはじめたからか、「ピアノの先生になるにはどうしたらいいの？」とまじめに聞いたかと思うと、「テレビに出るにはどうしたらいいの？」「面白い人か、アイドルか、アナウンサーになったら？」という、「あんしんしてくださいはいてますよ」面白い人になろうと思ったようです。

兄に、もうその人おるし！とつっこまれ、「やっぱりやめた」だそうです。まだまだ突っ込みどころ満載の娘です。それがまたかわいいな〜と思う親バカです。親バカで幸せ〜！

ひかり組 けいこさん

最近つぼみさんのお世話をしていると聞いたので「お世話はどう？」と娘に聞いたら「うん。とっても楽しい！ボールをとんとんつけるようになった！」というので「???」どうやら“お外遊び”と勘違いしたようでした。ともあれ、今まではお世話されるばかりだった娘が今度はお世話するほうになったんだ、と思うと感慨深いです。今までお兄ちゃんお兄ちゃんにしてもらったようにお世話が出来るの良いな、と思います。

ひかり組 ゆかさん

兄弟の中でも1番気の優しい息子。少し泣き虫で3つ離れている弟とけんかをして泣かされていることも多いです。保育園ではお友達と大きなけんかもなく、毎日楽しく通っています。そんな息子ももう卒園。ふたば組みから通い、つぼみ組みまで毎日ドアを叩きながら泣いていたことが昨日のこのように思えます。今では自ら部屋の中に入り、「バイバイ」と手を振っても見て見ぬふりをするようになり、寂しい反面少しずつお兄ちゃんになってきているなあと日々、成長を感じています。

だいち組 さつきさん

最近静かに机に向かっているなと覗いてみると、手紙を書いている姿をよく目にします。おかあさん、ちち（父）へ、あたりつきちけつとなど、内容は様々ですが、心とむものばかりです。強く印象に残っている手紙は、「いつもまもってくれているからいきられるよ」ふ…深い…そしてずっしりと重い…でも大切に思っていることは伝わっているねと、こっそり夫婦で爆笑しました。

ひかり組 あやさん

だいち組になり、人のお世話が大好きな息子。よく「弟や妹がいないのになぜそんなに小さい子のお世話が上手なの？」と聞かれます。確かに性格もあるかもしれませんが、ふと気づいた事がありました。ふたば組の頃から延長保育まで預けていますが、その時だいちさんやひかりさんに良く遊んでもらった事を今はこの子がしてあげられるようになって、自分自身で楽しんでいるのかな？私が息子以外のみんなの名前を覚えて「〇〇ちゃん（くん）おはよう！」と声をかけたりちょっとした関わりを持ったりしているのを見て同じようにしているのかな？本当の所は定かではないですが、息子も私も人と関わることが大好きです。この保育園で皆さんやお友だちのおかげで心身ともに成長でき、あともう少いで卒園です。嬉しさと寂しさと期待を胸に残りの登園を楽しみます！

だいち組 まこさん

～お台所から～

最近、食事の時間に子ども達の会話の中によく耳にする言葉があります。

「あっ！焼いた魚のにおいがする！」「カレーのにおいや！」「ん？今日のおいは〇〇みたいや」とランチルームから2階のクラスにまで届いている料理の香りで、献立を予想しているようです。担任の先生の話によると、2階のお部屋で遊んでいるときにも、料理の香りで「今日は〇〇かな」と話している様子もあったそうです。だいち組の子ども達は、お泊り保育でだしの香りをかいだ経験があるので「あっ！だしのにおいがする！」と言っている子もいました。

また、だいちさんが炊いてくれたお米の炊飯ジャーを開けた瞬間に、湯気とともに漂う炊き立てごはんの香りを嗅いで「いいにお～い！」と同じテーブルのお友達同士で嬉しそうに話あっている姿もありました。

子どもの嗅覚は大人よりも優れているようで、まだ目の見えない赤ちゃんがお母さんの母乳を飲むのも、母乳の匂いを頼りに口を乳首までもっていきそうです。

また、匂いに結び付いた記憶というのは視覚や、聴覚が呼び覚ます記憶よりも鮮明だそうです。まだまだ先の話ですが、将来大きくなってからも料理の香りで、かえで保育園の献立や味などを思い出してくれるとうれしいなと思いました。

かえで保育園の献立にも香りに関しては、いくつか工夫をしています。

例えば、ごまを使用するときはフライパンで香りが出るまで炒ったり、しらす干しをごま油でカリカリになるまで炒めてからサラダに混ぜるなど・・・小さい事ですが取り入れています。



※このレシピは切り取ってお使いください。

✂ 切り取り

今回のおすすめレシピはカリカリに炒めたしらすと、旬のはくさいを使った“はくさいのじゃこドレッシング和え”です。

☆はくさいのじゃこドレッシング和え☆

<材料>

はくさい 1/6 玉 黄パプリカ 1/4 個 赤パプリカ 1/4 個 しらす干し 50g (お好きな分量で構いません) ごま油 適量 A (酢大さじ6 砂糖大さじ3 塩小さじ1/4) 白ごま大さじ1

<作り方>

- ①野菜は細く切り、さっとゆがいて水けを絞る。
- ②しらす干しを、ごま油でカリカリになるまで炒める。
- ③Aの調味料をすべて合わせて、塩がとけるまでレンジにかける。(温めることで酢のカドがとれて子ども達にも食べやすくなります)
- ④香りがたつまでごまをフライパンで炒る
- ⑤ゆがいた野菜・いためたしらす・調味料・ごまを混ぜ合わせて出来上がり☆

人気メニュー
紹介



原 夕貴



- 3月4日(金)は酒蔵見学があります。
- 3月19日(土)にだいち組の卒園式を行います。全職員とひかり組が代表で式に参列します。卒園式当日はめばえ・ふたば・つぼみ・いぶきの保育はありません。ご家庭での保育をお願い致します。

こんなことしたよ♪

1月18日(月)は平成7年1月17日に起きた阪神淡路大震災を追悼するとともに、地震を想定した避難訓練を行いました。1回目・2回目の放送を聞き、机や毛布で身を守り、先生の指示に従って速やかに避難することが出来ました。また、当時の地震でたくさんの建物が倒壊し、火事や津波などによって多くの人が被害を受けたことを知りました。ひかり組・だいち組は、園長先生より震災当時は水さえなかなか飲めなかったことや、線路や高速道路が大きく分断されていた様子なども写真を見ながら聞きました。昼食のメニューも震災当時の炊き出しを再現した豚汁とおにぎりを食べ、当時のことを思い浮かべ「命」のことを考えながら過ごしました。



1月30日(土)は、成長発表会がありました。どきどきワクワクしながら迎えた当日は、前日からの雨も止み、絶好の発表会日和となりました。寒い中多くの保護者の方々がお越し下さり、子どもたちの一生懸命な姿を見て頂くことができました。乳児クラスの第1部では、春には泣いていた子どもたちが元気にお返事をしたり、マラカスを鳴らしたり、可愛い子ブタさんになりきる姿を見ることができました。第2部では、幼児クラスのそれぞれの個性がよく出た歌や劇、合奏を見ることができ一人ひとりが自信を持って楽しくできていたように感じました。きっと子ども達も心で感じたことがたくさんあると思います。また、お家でゆっくり発表会のことについてお話してみてくださいね。



- 2月3日(水)は豆まきです。だいちぐみはクッキングで豆を炒りますのでエプロンと三角巾の用意をお願いします。
- インフルエンザが流行しつつあります。保育園では手洗い、うがいを子ども達に丁寧にするように話をしています。入館の際に必ず消毒をください。感染を予防するため、保護者の方、兄弟関係で学級閉鎖などで自宅待機している場合は、必ず申し出頂き、自宅待機するか、保育室への入室はご遠慮ください。ご協力をお願いします。



2月の予定

- 3日(水) 節分の集い
- 5日(金) 絵画指導
- 9日(火) 音楽
- 10日(水) 雪遊び(ひかり・だいち) 六甲スノーパーク
- 16日(火) 誕生会
- 17日(水) 絵画指導
- 22日(月) 月例健診
- 27日(土) 28年度新入園説明会・健康診断
*幼児体育は毎木曜日です

3月の予定

- 2日(水) ひな祭り
- 4日(金) 酒蔵見学
- 19日(土) 卒園式
3歳以下のクラスは家庭保育となります。
- 22日(月) 移行保育
- 26日(土) お弁当日 新年度準備の家庭保育のご協力をお願いします。